

女子職員研修会

今年度は『リブランディングした日本の伝統を体験』を学びのテーマとし、神奈川県小田原市などを視察。

「小田原城址公園」「ミナカ小田原」「本間寄木美術館」「鈴廣かまぼこの里」に行ってきました！



11月12日、組合女子職員研修会を開催し、15名が参加した。本研修会は、先進地視察や他組合等の参加者との交流を通じて、組合職員としての見聞を広め、日々の業務に対するモチベーションの向上を目的に、昭和60年より継続的に実施している。今回は下記の4カ所を視察した。

小田原城址公園

NPO法人小田原ガイド協会による軽快で分かりやすい説明を聞きながら、二の丸の馬屋曲輪跡から本丸の天守閣前までの登城ルートを体験。

復元された本丸(天守閣)や銅門(あかがねもん)、常盤木門(ときわぎもん)等の徹底した防御構造や建造物の美しさについて見聞きした。



堅固な要塞「銅門」にて

ミナカ小田原

小田原駅から小田原城への同線上に立地する「小田原新城下町」と、地上14階建てのタワー棟からなる複合商業施設を見学。「江戸時代の宿場町の心を今に再現する」をテーマに令和2年12月に開業し、翌年度グッドデザイン賞を受賞した。



観光目的だけでなく、官公庁や市立図書館、クリニック等も入り、地域の活性化と地方創生につなげている。

本間寄木美術館

箱根・小田原城が唯一の産地として技術継承されてきた“箱根寄木細工”は日本の伝統工芸品。

当美術館では、寄木細工に直接触れる機会として寄木コースター作りの体験教室があり、参加者全員で体験。参加者からは「不器用でも綺麗に完成出来て良かった」と好評を得た。



好きな色のパーツで自由に柄を組む様子



展示物の見学では、匠の職人技が光る逸品を見ることができ、見事な模様の緻密さに歓声が上がっていた。

鈴廣かまぼこの里

江戸の頃からつくり続ける伝統のかまぼこについて、その素晴らしさと和の食文化の深みを観て、触れて、味わうことができるかまぼこの博物館。

参加者は、歴史や作り方、栄養のことなどを情報たっぷりに解説する“かまぼこソムリエ”のガイドツアーに参加。

併設の手作り専門の工場では、かまぼこ職人の手際の良い作業風景を見学した。



栄養について科学的に学べる

令和6年度関東甲信越静ブロック中央会関係 最低賃金審議会委員連絡協議会を開催

11月21日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、令和6年度関東甲信越静ブロック中央会関係最低賃金審議会委員連絡協議会を開催。最低賃金における各県の動き等について意見交換を行った。

本協議会は関東甲信越静ブロック中央会が毎年持ち回りで実施。最低賃金に関する各県の状況等、意見交換を行うもの。

はじめに、中央最低賃金審議会委員でもある、全国中小企業団体中央会の佐久間一浩事務局次長より、中央最低賃金審議会における本年度の審議経過や最近の労働問題について講演が行われた。

佐久間次長は、最低賃金引き上げに関し、「中小企業の厳しい実情を訴えてい



佐久間事務局次長

るところ」とし、引き続き粘り強くアピールを続けていきたいと述べた。

その後、各県による意見交換では賃金の上昇に対応したくてもできない中小企業の現状を情報共有。その中で、政府は、最低賃金上昇の必要性を訴えるだけでなく、物価上昇を上回る賃上げ実施に向けた支援策の強化を推進すべきとの意見が挙げられた。



就活ウォーミングアップ講座

12月17日、伊勢崎市・上武大学において、就活ウォーミングアップ講座を実施した。企業の採用担当者より、大学2年生に向けて就職活動に必要なことを企業視点で伝えるとともに、県内企業へ目を向けてもらうことを目的としている。

最初に登壇した株式会社サンワの人事部リーダー・寺園博子氏は、「就活は試験ではない。企業にとっては仲間探し」と述べ、面接での質問の意図や回答の仕方、自社とベクトルを合わせられるかといった判断基準を紹介した。

2人目に登壇した株式会社栗原医療器械店の採用部・矢部有香氏は、自己分析や業界研



寺園氏



矢部氏

究の手法について自身の経験を交えながら説明。事前準備の大切さを強調し、早い分には損をしないので今からでもできることを進めるよう呼びかけた。

終了後のアンケートでは、「人事担当者の話を聞き、別の視点で就活について知ることができた」「東京で働きたいと考えていたが、県内地元企業の良さを感じられた」等の感想が寄せられた。



200名を超える学生が真剣に受講